

令和2年度 第71回群馬県サッカー総合選手権大会 要項

1. 名称 第71回群馬県サッカー総合選手権大会
2. 主催 公益社団法人群馬県サッカー協会
3. 主管 群馬県社会人サッカー連盟
4. 協賛 (株)モルテン
5. 開催期日 2020年12月6日～2021年1月24日
6. 競技会場 前橋総合運動公園群馬県立敷島公園サッカー・ラグビー場、他
7. 参加資格

(公財)日本サッカー協会及び(一財)全国社会人連盟に登録された、第1種(準加盟チームも含む)のチームであり、かつ群馬県社会人サッカー連盟登録チームであること。ただし、(公財)日本サッカー協会及び(公社)群馬県サッカー協会に登録しているチームであれば、所定の参加料を納めれば参加を認める。

- (1)出場選手は、エントリーしたチームに登録してあり、そのチームの選手証を持っていること。(大会期間中の選手の追加、移籍は認めない。エントリー変更は1回戦が始まる前日まで認める。ただし、シードチームは出場試合の1週間前までは認めるが、敗退したチームからの移籍は認められない。)
- (2)外国籍選手の登録は1チームにつき3名以内とする。但し、「JFAのプロサッカー選手の契約、登録および移籍に関する規則」の条件に該当する場合は、この3名を超えて登録できるものとするが、何れの場合も、外国籍選手の登録人数の総数は、5名を超えてはならない。(準加盟チームは除く。)※同一試合には、3名が同時に試合に出場することができる。
- (3)選手資格に疑義がある場合はあらかじめ群馬県社会人サッカー連盟の意見を求める。なお疑いのある場合は、群馬県社会人サッカー連盟がこれを裁定する。
- (4)(公財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」のチームに所属する選手を移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることが出来る。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。但し、適用対象となる選手の年齢は第2種年代のみとし、同一「クラブ」内の第2種登録チームから選手を参加させることが出来る。第1種、シニア年代の選手は適用対象外とする。
但し、第2種登録選手は3名までエントリーを認め、3名が出場できる。
- (5)参加選手は他のチームと二重登録されていないこと。

8. 大会形式

- (1)勝ち抜き方式
- (2)3位決定戦は行わない

9. 競技規則

(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則2020/2021」による。

10. 競技規定

(1)ボール

試合球 : モルテン社製 検定球5号球

商品名 : ヴァンタッジオ4900、ヴァンタッジオ5000

(2)競技者の数

①競技者の数 : 11名

②交代要員の数 : 7名

交代要員は、フィールド上の選手と識別するために、ベンチ内にてビブスを着用すること。

③交代を行うことのできる数 : 5名以内

(3) 役員の数

①ベンチに入ることが出来る役員の数 : 6名 必ずメンバー表に氏名を記入すること。

ベンチ内において、チーム役員はフィールド上の選手と識別できるようにすること。

②テクニカルエリア : 設置する。

戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ一人の役員が伝えることが出来る。

(4) ベンチに入ることが出来る人数 : 13名 (交代要員7名、役員6名)

※無観客試合となるため、選手家族の応援も禁止とする。

(5) 競技者の用具

①ユニフォーム

(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。特に、下記項目において注意を促す。

なお、ユニフォームの色・選手番号は、参加申し込み締め切り日以降の変更を認めない。

a. ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)は正の他に副として、正と色彩(濃淡)が異なり判別しやすいユニフォーム色彩を参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用 共に)。

b. シャツの前面・背面に参加申込書に登録した選手番号(選手登録番号ではない、背番号にあたる番号)をつけること。ショーツの選手番号については、つけることが望ましい。

c. ユニフォームに他のチーム(各国代表、プロクラブチーム等)のエンブレム等がついているものは、着用できない。

d. ユニフォームへの広告表示については(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。なお、会場によって広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。

e. ソックスの上にテープやバンテージを巻く、あるいはアンクルサポーター等を着用する場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。

f. ユニフォームのシャツが縞(縦縞も横縞も)の場合は、台地(白布地等)(縦 30cm×横 30cm 位)に背番号をつけて判りやすくすること。

②装身具 : 一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。

(6) 試合時間

①試合時間 : 70分間(前・後半 35分)

決勝、準決勝、準々決勝は 90分間(前・後半 45分)

②ハーフタイムのインターバル : 原則として 10分 (前半終了から後半開始まで)

決勝、準決勝、準々決勝は 15分 (前半終了から後半開始まで)

③試合の勝者を決定する方法 : PK方式にて決定する。ただし、決勝戦については 20分間(前・後半 10分)の延長戦を行い、なお決しない場合は、PK方式により勝敗を決定する。

④延長戦に入る前のインターバル : 3分

⑤PK方式に入る前のインターバル : 1分

(7) その他

①負傷者の対応 : 主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

②チームベンチ : ピッチ上、本部からフィールドに向かって
左側・・・対戦表の左(上)に記載されているチーム

右側・・・対戦表の右(下)に記載されているチーム

③チームが試合時間に遅れた場合は、いかなる理由があろうとも不戦敗とする。

(8)新型コロナウイルス対策

①競技場敷地内入場時、チーム選手及びチームスタッフは必ず全員マスクを着用すること。選手がフィールドへ入るとき以外はマスクの着用を続けること。

②競技場への入場時、健康状態報告書を入場者全員(選手及び役員)提出すること。試合当日の朝の体温を測定し、健康状態報告書へ記入する。

③タオルや飲水物等は各自で準備し、試合中でも他人の所有物は使用しないこと。

④消毒用アルコール等は社会人サッカー連盟でも用意はするが、各チーム、さらには選手各自で用意すること。

⑤県立敷島公園サッカーラグビー場、前橋総合運動公園群馬県陸上競技サッカー場、その他の会場ではロッカールーム、シャワールームは使用不可のため、車中もしくはグラウンド内で着替えを行う。

⑥無観客開催のため、家族等の応援は禁止とする。

⑦その他、新型コロナウイルス対策については別紙「敷島公園新型コロナウイルス対策インフォメーション」を参照すること。敷島公園サッカーラグビー場以外の会場についても、敷島公園新型コロナウイルス対策インフォメーションと同様に対策を行うこと。さらに、その他の会場独自の対策項目がある場合は、それを順守すること。

⑧各試合において、試合前後のセレモニー(両チーム、審判団との握手)は行わない。ベンチ前にて用具チェック終了後、選手はそのままポジションへと移動すること。また、試合前の円陣も行わないこと。

⑨各試合において、WGBT 値に関わらず、飲水タイムを実施する(前後半一度ずつ)。

1 1. 懲罰

(1)本大会において退場を命じられた選手は、本大会又は直近の公式戦 1 試合に自動的に出場することができない。その後の処置については、県総合選手権大会規律委員会で決定する。また、退場を命じられた選手は、その試合中はグラウンド外へ退き、試合に干渉しないこと。

(2)本大会期間中に警告を 2 回受けた選手は、直近の本大会 1 試合に出場できない。なお、本大会期間中に課せられた警告の累積は他大会に影響を及ぼさない。

(3)出場停止処分を受けた者は、懲罰規程第 3 条の通り、試合が終了するまで制限する区域には立ち入ることはできない。

(4)本大会は、(公財)日本サッカー協会規約規程「第 1 2 章 懲罰」に則り、大会規律委員会を設け、委員長は群馬県社会人サッカー連盟理事長とし、委員については委員長が決定する。

(5)本大会の規律問題は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規程」に従い、大会規律委員会が処理しなければならない。

1 2. 参加申し込み、及び試合エントリー

(1)1 チームあたり 34 名(役員 6 名、選手 28 名)を最大とする。監督が選手として出場しようとする場合は、選手に含まれていなければならない。

(2)1 試合のエントリーは 18 名とし、試合のメンバー表は、大会エントリー表に先発選手は 1~11、(GK: 1、以降 DF、MF、FW の順に 11 まで)、サブの選手は 12~18 を記入すること。キャプテンの選手は背番号を丸数字で表記すること。ベンチ入りするチーム役員氏名も必ず記入すること。試合開始 30 分前までに会場役員に 2 部(大会役員用と相手チーム用)を選手証と一緒に提出する。メンバー表を提出する際に試合球も提出する(準決勝以降は必要ない)。準決勝

以降は、マッチコーディネーションミーティングを行うので、試合開始 90 分前（マッチコーディネーションミーティング時）までに 2 部提出する。

1 3. 参加費

本年度社会人連盟登録チームで参加を希望するチームは、1 チーム 1 6, 0 0 0 円。1 種登録している大学連盟、専門学校連盟、シニア連盟等所属チームは、1 チーム 1 8, 0 0 0 円。

さらに、決勝戦に出場する 2 チームは、運営費として 5, 0 0 0 円ずつ負担する。

1 4. 選手証

各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。

※選手証とは (公財) 日本サッカー協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧表を印刷したものを示す。写真の添付により顔の認識ができるものであること。不測の事態の場合は、電子機器での確認も可とする。

1 5. 審判

(1)シードチームが出場する準々決勝以降の審判員は、(公社)群馬県サッカー協会審判委員会より派遣する。派遣審判員はマッチコーディネーションミーティングがある準決勝、決勝戦は、試合開始の 90 分前までに集合すること。準々決勝以前は試合開始の 60 分前までに集合すること。

(2)準々決勝前までの試合に関しては主審のみ審判委員会より派遣し、副審に関しては参加チーム帯同審判員が担当する。(帯同審判員は、4 級以上の審判有資格者とする)

副審担当者は、担当試合キックオフ時間の 30 分前には、主審及び会場役員のところ集合する。

1 会場 4 試合の場合は、第 1 試合は、第 2 試合の両チームから 1 名ずつ。

第 2 試合は、第 1 試合の両チームから 1 名ずつ。

第 3, 4 試合も同様に、前後の試合の両チームから 1 名ずつ。

1 会場 3 試合の場合は 第 1 試合は、第 2 試合の(組合せ番号が小さいチーム)から 2 名

第 2 試合は、第 3 試合の両チームから 1 名ずつ。

第 3 試合は、第 2 試合の(組合せ順の番号が大きいチーム)から 2 名

スムーズな大会運営のため、各チーム帯同審判の方の積極的な協力をお願いします。

(3)準決勝戦及び決勝戦は、試合開始 70 分前にマッチコーディネーションミーティングを行う。チームからは監督、運営委員、キャプテンなどの 2 名が出席すること。

1 6. 表彰

(1)優勝チームには優勝旗及び賞状を授与する。

(2)準優勝チームには賞状及びトロフィーを授与する。

(3)3 位チームには賞状及びトロフィーを授与する。

1 7. 保険

主催者は、参加者の負傷、疾病の一切責任を負わない。なお、参加選手は健康保険証を持参し、スポーツ傷害保険に加入していること。

1 8. 組み合わせ

大会参加料振り込み順にトーナメントの組み合わせをし、大会運営会議にて決定する。

1 9. その他

(1)優勝チームは令和 3 年度『全国社会人サッカー選手権大会関東予選(以下関東予選)』に出場する義務を負う。また、天皇杯群馬県代表を決定する『群馬県サッカー協会長杯サッカー大会』に出場する義務を負う。ただし、準加盟チームにおいては協会長杯サッカー大会には出場できない。

(2)他連盟加盟チームは、関東予選の出場権がないので、優勝チームが他連盟加盟チームの場合は、

社会人連盟において、代表決定方法を再度検討する。

- (3)前年度優勝、準優勝、3位の4チームはシードする。(ただし、エントリーチームが64チーム以上の場合は、前年度ベスト8チームをシードする。)シードチームが不足する場合は、大会開催年度の群馬県社会人サッカーリーグ1部の順位により決定する。他の出場チームについては、抽選により組み合わせを行い、優勝チームを決定する。
今年度シードチームは、tonan 前橋サテライト、リバティ館林、邑楽ユナイテッドFC、群馬教員SCの4チーム。シードチームが1回戦よりの出場を希望する場合は別途協議する。
- (4)上位リーグ参加チームが群馬県サッカーリーグに降格した場合は、その決定時期がエントリー終了後であった場合には、降格決定後にエントリーを認める。その場合には、決勝戦を新たに設け、それまでの決勝を準決勝に、準決勝を準々決勝とする。
- (5)参加資格に違反し、その他の不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。
- (6)大会要項に記載されていない事項については、群馬県社会人サッカー連盟において協議の上決定する。
- (7)本大会名義をチームの広告宣伝・営業等の目的で許可なく使用することを禁ずる。
- (8)ゴミは、各チーム責任をもって持ち帰ること。
- (9)喫煙を禁止とする(会場に喫煙指定場所がある場合はこの限りでない)。
- (10)試合前のアップ場所は、大会本部の指定する場所にて行うこと。
- (11)天候不良により試合再開不可の場合は、中断時の得点で勝敗を決定する。同点の場合は、コイントスにより勝敗を決定する。
- (12)新型コロナウイルス等社会情勢により、予定通りの大会開催が不可能となった場合、この大会を代表とする群馬県サッカー協会会長杯サッカー大会への出場チームは無しとする。また、全国社会人サッカー選手権大会関東予選については、群馬県社会人サッカー連盟により群馬県代表チームを決定する。

以上